

ココロの疲れを計測

疲労ストレス測定システム



自律神経測定センサー(VM302)

**自律神経（心の血圧）を測定し、
こころの健康管理を行うシステム!**

- 脈波と心電波からストレスのバロメーターである自律神経のバランスを測定!
- 両指を測定器に入れるだけの簡単操作!
- 疲労・ストレスの度合いをわかりやすく表示!
- メンタルリスクの予防、早期発見のための適切なケアおよび回復状況の確認が可能!

疲労ストレス測定システム 自律神経測定センサー (VM302)

ストレス計測システム

どんなもの？

自律神経を測定し、こころの健康管理を行うシステム

自律神経のバランスと活動量(自律神経機能年齢)をセンサーで測定し、これまで客観的な評価が難しかった「疲労」を高い精度で見える化。両指を測定器に入れるだけで、脈波(PPG)・心電波(ECG)を同時に測定し、その結果から心拍変動を解析して疲労・ストレスの評価基準

である自律神経のバランスと自律神経機能年齢を表示。

いままでの測定器に比べて、PPGとECGを同時に測定することで、測定精度が向上し、短時間で自律神経解析が可能。

ココがユニーク!

両指を測定器に入れるだけの簡単操作

受診者が自律神経測定器に左右の人差し指を入れると、2~3分で心電波と脈波を同時に計測。

計測データは、測定器と接続したPCからデータセンターに送られ、データを解析し、瞬時に結果を返信。

疲労・ストレスの度合いをわかりやすく表示

結果レポートには、自律神経機能年齢や心拍変動、交感・副交感神経のバランスが数値やグラフで表示され、「正常」「注意」「要注意」の3段階で分かりやすく評価。

疲労・ストレスの度合いを客観的に確認でき、メンタルリスクの予防、早期発見に対する適切なケアおよび回復状況の確認が可能。

ココに注目!

これまで分かりにくかった心のストレスを客観評価

これまでのストレス検診は、問診によるものがほとんどで、客観的な評価が難しかった「疲労・

ストレス」の度合いを、簡単スピーディに確認。

商品の科学的エビデンスとしての利用など幅広い用途

全国の病院や保健所、企業の健康相談施設、スポーツクラブなどへの導入にくわえ、サプリメントや寝具の効果測定や車の乗り心地など、

商品の科学的エビデンスとしての利用など幅広い用途への活用が可能。

お問い合わせはこちら!

株式会社疲労科学研究所

お問合せ

TEL : 06-6308-1190
E-mail : hirou@fatigue.co.jp

所在地 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-26 オリエンタル新大阪ビル1406

TEL : (06) 6308-1190

FAX : (06) 6308-1086

ホームページ <http://www.fatigue.co.jp/>